

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120304

# 小児看護方法論 Child and Family Health Nursing

担当教員 金谷 雅代、西村 真実子、千原 裕香

実務経験

開講年次	3年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
------	-------	-----	---	------	-------

必修・選択	必修	時間数	45
-------	----	-----	----

Keywords 健康障害・健康問題をもつ子どもと家族への看護、小児看護技術、小児看護過程

学習目的・目標  
目的：健康障害や健康問題を抱える「子どもとその家族」を理解し、支援するために必要な知識と看護技術を修得する。  
目標：  
1) 病気や入院が子どもとその家族に与える影響とその看護について説明できる。  
2) 小児期に特有の健康障害を病期別にとらえ、各病期にある子どもとその家族への看護の特徴について説明できる。  
3) 子どもを対象とした看護技術を習得する。  
4) 健康障害をもつ子どもとその家族に対して紙上で看護過程を展開し、看護を行うときの考え方・手順を理解する。またその過程でクリティカル・シンキングの能力を養う。

授業計画・内容

回	内容
1	ガイダンス、小児看護学実習Ⅰオリエンテーション
2	小学校における子どもの健康問題、養護教諭の職務、保健指導における指導案の作成
3	幼児集団への保健指導案の学生間での検討（互いの指導案にアドバイス）（小児看護学実習Ⅰの準備）
4	幼児集団への保健指導案のグループ&個別指導および指導案の修正（小児看護学実習Ⅰの準備）
5	小児看護学実習Ⅰ事前現場指導（小児看護学実習Ⅰの準備）
6	幼児集団への保健指導案の予行演習（リハーサル）（小児看護学実習Ⅰの準備）
7	病気や入院が子どもと家族に与える影響と看護
8	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅰ 1) 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療、病気による子どもと家族の生活の変化、子どもの発達とセルフケア獲得への援助、地域との連携・調整 2) 慢性期にある子どもとその家族：「1型糖尿病」と生涯付き合う
9	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅱ 3) 慢性期にある子どもとその家族：成長に伴い改善していく可能性のある「気管支喘息」
10	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅲ 4) 慢性期にある子どもとその家族：心疾患
11	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅳ 5) 慢性期および終末期にある子どもとその家族：小児がん
12	手術を受ける子どもとその家族への看護
13	低出生体重児とその家族への看護
14	発達に問題がある子どもとその家族への看護
15	子どもを対象とした看護技術－計測、与薬、バイタルサインズ測定等－
16-23	1. 小児看護における看護過程の展開：紙上事例を通して（グループ演習） 2. 子どもを対象とした看護技術（演習）

教科書 新体系 看護学全書 小児看護学②

健康障害をもつ小児の看護、メヂカルフレンド社

参考図書等 山元恵子監修：写真でわかる小児看護技術、インターメディカ  
鴨下重彦監修：子どもの病気の地図帳、講談社、2002

評価指標  
1 必要な出席状況を満たすことにより評価する  
2 試験（70%）  
3 予習および演習のレポート（20%）  
4 グループワーク・演習への取り組み姿勢（10%）

関連科目	疾病・障害論Ⅳ(母子) 小児看護学概論 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ
教員から学生へのメッセージ	病児とその家族への看護の基本項目と課題について考えていきたいと思えます。また、小児看護学実習Ⅰ（保育施設での実習）の事前準備や、小児看護技術の学内演習、紙上事例の看護過程展開演習も含まれています。